2014 年 1 月 20 日作成

会報 No.12

平成25年第4回定例会（12月議会）報告

12月議会の議案は25年度の補正予算や消費税改正に伴う手数料アップ、指定管理者承認、災害復旧・復興工事の契約変更、等を主とするものであった。
この他、議会での一般質問で各議員が取り上げた主なテーマは以下のようなものであった。

① 高齢者施策（医療・介護制度改革）・子育て支援
② 浦安駅周辺整備事業と新浦安駅前第6駐輪場廃止
③ 補助金問題
④ 動物愛護について
⑤ 北栄ダイエー問題
⑥ 宅地液状化対策
⑦ スワン跡地のその後
⑧ 災害復旧・復興工事と契約額の変更

議員名は姓で明記しています。また、紙面の関係で一部敬称を省略しています。

① 高齢者施策（医療・介護制度改革）・子育て支援

（中村、岡野、元木、秋葉、柳、美勢、芦田）

「社会保障の安定財源確保を図る税制の抜本的な改革」は「子育て支援」や高齢者に対する「医療・介護制度改革」を目的とするものである。この改革による浦安市民への影響について、多くの議員から様々な角度から熱心な質疑があった。しかし、傍聴者には理解しにくい点も多々あった。これは、国として新制度の指針がこれからとなるものが多く過渡的なことも一因である。よく勉強していると感じられる質疑もあったが、一方で具体性が感じにくい質問をしていた議員もいた。市民の関心と影響が大きいだけに、現場へ足を運んだ上での質問と回答を期待したい。

傍聴者のつぶやき

◆今後、国の動向を見守りながら、市民に分り易い説明をするように行政・議会にお願いしたい。例えば、11 月にスタートした「24 時間訪問介護・看護事業」はその後どうなっているのだろう？

② 浦安駅周辺整備事業と新浦安駅前第6駐輪場廃止

（宮坂、元木）

なかなか進行していなかった東西線浦安駅周辺の再開発が一歩前進しそうだ。猫実 4 丁目の民有地（“たかみ”ビル）と入船 1 丁目の市有地（第6駐輪場）との等価交換（註:土地の評価差は金額で清算）の話し合いが進んでいる。
これにより浦安駅のバス停が整備されるが、新浦安の第6駐輪場がなくなり第 2 駐輪場と合併されるので、今までの利用者にとっては駅から遠くなり、少し不便になりそうだ。この話し合いは、平成 26 年 4 月 30 日までに議会の決議を得て締結になる予定である。地価は市有地が 6 億 6600 万円、猫実 4 丁目は 5 億 7000 万円であり、差額が 9600 万円になる。
また、元木議員からこの件について、覚書締結をする前に議会に報告がなかったのは「議会軽視ではないか」との発言があった。

傍聴者のつぶやき

◆浦安駅周辺の再開発が進むことは喜ばしいことだ。まだバスレーンがどうなるのか分からないが、市民の不便さをはやく解消してほしい。
◆こうなると北栄 3 丁目の市有地（ダイエーに貸付）を再開発計画の一角に組み込めなかったのは残念である。

③ 補助金問題（水野、折本）

H22 年に保守系議員である故・小泉議員が議案提出者となって「福祉関連補助金に関する特別委員会」が設置されたことがある。

今議会では、補助金を受け取っている福祉法人に巨額の内部留保が積み上がっているとの指摘があった。水野議員の調査によれば、「パーソナルアシスタンスとも」の資産の推移は下記のとおりである。

H21	H22	H23	H24
1.09億円	1.38億円	1.70億円	2.20億円

H24 年事業収入 3.57 億円（＝市委託事業 1.68 億円＋独自事業 1.89 億円）で、市の説明では毎年の資産増は委託事業によるものは少なく、独自事業からとのこと。

H25 年に監査主体が県から市に移管されたことにより、市は公認会計士に監査を依頼する。監査結果は速やかに市のホームページに開示されることを要望する。何せ我々市民が納めた税金が補助金に使われているのだから、市民は知る権利があるはずだ。

傍聴者のつぶやき

◆日本経済新聞（H25 年 11 月 27 日付）によれば、「非営利の社会福祉法人は法人税・固定資産税が免除されているが、その利益率は上場企業を上回っている」ことが国の規制改革会議による調査で判明した。一方、市の説明を逆算してみると、H24 年の独自事業は 1.89 億円で、これにより 1 年間で 0.5 億円（2.2 億円－1.7 億円）の資産の増加を得ていることになる。本当なの？

④ 動物愛護について（柳、広瀬、美勢）

※こちらの議題を取り上げました議員名に当初間違いがありました。お詫びして下記のように訂正させていただきました。今後このようなことのないように注意をいたします。大変申し訳ございませんでした。なお、文中内での議員名には間違いはございません。 **誤『水野、広瀬、美勢』 ⇒ 正『柳、広瀬、美勢』**

動物愛護について前回の 9 月議会に続き取り上げられた。
動物愛護法改正（H25 年 11 月より効力発生）により、10 頭以上保護している場合は第二種取り扱い申請が必要になるので、市は現在の 22 頭から 9 頭に減らす予定としていたが、11 月 26 日に第二種取り扱い申請をした。

市は、今後の犬舎運営を現在の「NPO 法人 UC 動物を守る会」から他に委託先することを検討している。その理由として、市は当該団体が活動をやめたいと申し出ていることや、同団体への不信感を

挙げた。しかし、柳議員は「同団体が活動をやめるとは聞いていない」と述べ、広瀬議員も「同団体が昨年の市との協働事業に申請したことと矛盾する」と指摘した。また、犬舎の犬は市に所有権があるにも拘わらず、市がワクチンや去勢・避妊手術費用を負担していないことが分かった。

市川保健所から指摘されている犬舎の改善について、市は今後の犬舎のあり方に併せて考えると回答した。

美勢議員は、H16 年に提出された陳情『動物と共生できる町づくり』が趣旨採択されたにも拘わらず、動物愛護条例は制定されていないと指摘した。それに対し、市は「陳情や趣旨採択は法的拘束力がないと考えている」と答弁した。

傍聴者のつぶやき

◆市は「犬舎運営をしている団体が信頼できない」と述べたが、議場での発言は議員と行政に限られており、同団体抜きの欠席裁判のようでフェアではないと考える市民もいるのではないか。
◆犬舎運営に毎年 100 万円以上支出をしているのは喜ばしい。でも、犬の所有権は市にあるにも拘わらず、去勢・避妊費用は全額団体負担とは厳しいんじゃないの。

⑤ 北栄ダイエー問題（水野、広瀬、折本）

ダイエーは地元住民に対し度々説明会を開催してきたが、住民からは交通安全の観点から懸念が表明され、市長からも安全対策を講じるようにとの要望書が提出された。その結果、出入口が1ヵ所から2ヵ所に増えることになった。しかし、広瀬議員の指摘によれば、建物の3階に保育園が移設されるため、新たに計画された出入口は駐車場法施行令第7条の規定（幼稚園・保育園の出入口から20m以上離れていなければならない）に違反している。

傍聴者のつぶやき

◆こんな法令違反に気付かないダイエー。出店のプロとしてはお粗末なミスだ。地元住民としては不安感・不信感を抱かざるをえない。

⑥ 宅地液状化対策（元木、広瀬）

2 人の議員から一般質問件名として提出されたが、時間切れのため次回へ持越しとなった。松崎市長の「液状化対策なくして、浦安の復興なし」発言もあり、市民の関心も高いテーマだけに、他の議員からも取り上げられず質疑無しとなったのは残念だった。

傍聴者のつぶやき

◆情報によれば、複数ヵ所で市の提案する「格子状地中壁工法」が住民・行政の協力により、着工に向けて積極的に進められているようだ。この液状化対策により「土地の資産価値と安全性が回復する」ことを期待したい。遅れている他の自治会にも良い刺激と影響をもたらすものと考える。

⑦ スワン跡地のその後（広瀬）

H23年12月議会での、補助金を受け取っている障がい者団体出身の末益議員による「気になる発言」を記事にして以来、この会報で度々その後の動向を取り上げているので、その結末についても皆さんに報告すべきと考えている。

昨年3月にスワンが退去した後7ヵ月以上の空白があったが、ようやく11月中旬に新店舗の『S・Front』がオープンした。店内の椅子やテーブルは以前のものを使用しているが、使い勝手や雰囲気はスワンとは少し違うようだ。それでも抜群の立地条件のおかげで客の入りは悪くない。

今議会では以下のような指摘があった。
●この場所での事業は浦安市観光コンベンション協会が請け負っているが、同協会はこの場所を『S・Front』（経営主体は東京ハイウエイ）に転貸（又貸し）しているのではないか？

市は「協同事業なので問題なし」と回答しているが、行政財産の転貸はできないはず。

●同協会には今年度から3550万円の補助金が認められているが、sその使途内容もチェックする必要がある。

傍聴者のつぶやき

◆市と観光コンベンション協会と東京ハイウエイ3者間の契約内容を正々堂々と明らかにすれば問題の有無は明確になるはずだ。

⑧ 災害復旧・復興工事と契約額の変更（折本）

現在行われている工事は、道路工事が 18 ヵ所と下水道工事が 10 ヵ所。9月議会ではこのうち5ヵ所（道路工事2ヵ所、下水工事3ヵ所で5億551万円の追加）の契約額が変更になった。12 月議会でさらに8ヵ所（道路工事4ヵ所、下水道工事4ヵ所で13億3036万円の追加）の契約額変更が提案され承認された。大幅な契約額の変更となった理由を質問した折本議員に対して、石井副市長は「緊急な工事であり、当初予測できなかった事態が発生している」と答弁している。

傍聴者のつぶやき

◆入札額を毎回毎回変更しなければならないとはいくら工事を急いだからといえども事前調査を念入りにしてほしかった。

12 月議会を傍聴して

12月議会は例年、補正予算の審議が中心であり議会は静かである。議会が静かだと傍聴人も少ない。

一般質問をした議員名と傍聴人数は以下の通りであった。

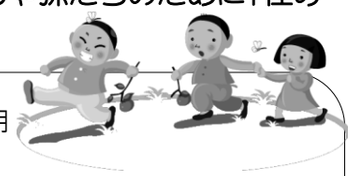
（議員名敬称略）

16日		17日		18日		19日	
議員名	傍聴人数	議員名	傍聴人数	議員名	傍聴人数	議員名	傍聴人数
水野	6	田村	4	岡本	7	長谷川	3
末益	3	岡野	3	広瀬	15	芦田	2
中村	3	元木	4	西川	3	質問した議員17名 議　長：西山 副議長：深作	
宝	2	秋葉	3	美勢	9		
宮坂	0	柳	2	折本	4		

あなたが選んだ議員の活躍ぶりを傍聴しましょう！！

一般質問や委員会質疑は議員の皆さんの日ごろの調査や活動の成果が見える場でもあります。

特にシニアの皆さん、子どもたちや孫たちのために「住みよい浦安」にしましょう！



●次期市長選 H26 年 10 月
●次期市議選 H27 年 4 月

◆発行：「浦安市議会ウォッチングの会」代表：天野恵雄
◆連絡先 e-mail： watching@jcom.home.ne.jp
◆会のブログアドレス http://urayasusigi2.jugem.jp/

ご意見・ご感想をお寄せください。